

イ 主な研究活動

- ①全学年対象の「総合的な学習の時間」によるキャリア教育（自作教材について一層の充実を目指す）
- ②外部との連携に一層力を入れ、外部機関や人材の積極的活用の促進
- ③宮城県教育庁高校教育課キャリア教育班など教育行政機関との密接な連携
- ④宮城労働局・古川公共職業安定所をはじめとした各地のハローワーク等とのさらなる密接な連携に力を入れる。特に、本校在籍生徒の居住地の約7割を占める仙塩地区にある仙台・塩釜ハローワークとの密接な連携も引き続き重視する。
- ⑤中小企業家同友会等との連携も含め、各企業等の事業所との密接な連携等を通じて、昨今社会問題となっている若年者の離職問題についての対策を積極的に行う。
 - ・離職問題に対応するためのデータ等の情報収集も一層促進する。
 - ・昨年度に引き続き、卒業後4年以内の卒業生を対象とした就職先の定着状況や離職状況について、事業所や卒業生に対し、対面及び電話による聞き取り調査を実施し実態の把握に努め、課題解決のための一助とする。
 - ・全学年実施の「総合的な学習の時間」等で、労働問題に関する教育を一層充実させる。
- ⑥進学した卒業生への追跡調査等を行い、専門学校等の進学先の実態を把握し、データ等の情報収集も一層促進していきながら、今後のキャリア教育・進路指導に生かしていくための一助とする。
- ⑦「就業体験（インターンシップ）」の指導の在り方について、キャリア教育の面から指導体制等について一層の強化を行う。
- ⑧3年連続で実施予定の全学年によるキャリアセミナーを行う。
- ⑨ビジネスマナー教育についての強化・改善に努める。特に、秘書サービス接遇関係の指導方法についてより積極的に取り入れていく。
- ⑩本校のキャリア教育実践の原点である起業家教育についての一層の充実に努める。
 - ・オリジナル教材「起業家教育 課題解決プログラム（KEEP 鹿島台商業高校アントレプレナーシッププログラム）」を活用する。
 - ・今年度より学校設定科目「地域ビジネスプランニング」（3学年・2単位）実施にともない教育内容を一層充実させ、身につけさせたい社会人基礎力養成の一助とする。
 - ・宮城大学との連携 「課題解決型学習における学生チューターの学習支援」も引き続き行う。
 - ・商業科を中心とした起業家教育関連科目「ビジネス基礎」「課題研究（特に商品開発やマルチメディア実習の内容）」「マーケティング」「広告と販売促進」等の教育実践内容を充実させる。
- ⑪学習成果発表会の実施
- ⑫キャリア教育のホームページやマスコミ・雑誌等により、本校のキャリア教育の取り組みを積極的に発信させていく。
- ⑬キャリア教育推進協議会の運営についての研究
特に、学校経営や学校マネジメントも視野に入れた協議会のよりよい運営について研究を行う。

ウ 実施項目・成果・今後の課題

I 経緯

本校のキャリア教育を知るには、歴史的変遷を見る必要があるため、簡単に振り返り、今後の在り方についての展望も示す。

① 平成19年度～平成21年度「個性かがやく高校づくり」指定校及び就業体験実施の歴史

平成19年度に県の「個性かがやく高校づくり」の指定を受け、「起業家マインドの育成」を柱に、キャリア教育の中の一部である「起業家教育」にかなり特化した実践を行ってきた。

また、本校の「就業体験」は、平成16年度から始まり、平成25年度までは、商業科が主管であったが、平成26年度からは、進路指導部が主管となって現在に至っている。

※参考資料：平成25年度「第2回キャリア教育推進協議会」[詳細資料](#)

資料⑤ 就業体験先一覧及びアンケート結果について



② 平成22年度～平成23年度「魅力ある県立高校づくり支援事業」指定校

平成22年度からは、県の「個性かがやく高校づくり」指定を受け、それまでの取り組みを発展させた。週1時間の学校設定科目であるキャリアの時間「OT (OurTime)」の導入や1学年企業見学等を新たに加えることにより、進路指導についての内容にも踏み込んだ。そのようなことから、指定校の事務局は新たに進路指導部に任されたが、平成21年度までの起業家教育に特化した内容から発展したこともあり、起業家教育とキャリア教育が混在しており、内容についてもう一度整理する必要性が生じていた。また、当時の就職率の低迷や卒業後の離職率の高さも本校の大きな課題であったため、キャリア教育の中核である進路指導を中心とした(注i)根本的な見直しと立て直しが迫られ、起業家教育に特化した内容では課題に対応することがかなり難しいという、厳しい現状が浮き彫りとなっていた。

※注 i：早稲田大学教職大学院教職研究科長 日本キャリア教育学会会長 三村隆男氏より

http://www.seisyounen-chian.metro.tokyo.jp/seisyounen/pdf/02_shokubataiken/26houkokusyo/7.pdf#search=%E4%B8%89%E6%9D%91%E9%9A%86%E7%94%B7+%E3%82%AD%E3%83%A3%E3%83%AA%E3%82%A2%E6%95%99%E8%82%B2++%E4%B8%AD%E6%A0%B8++%E9%80%B2%E8%B7%AF%E6%8C%87%E5%B0%8E

「季刊教育法」No. 145 June, 2005, p28



③ 平成24年度～平成27年度「東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業」指定校

平成24年度からは国の震災復興を担う人材育成のための「東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業」の指定校となった。初年度である平成24年度では、過去5年間の宮城県の指定校としての内容をバランスよく取り入れ、さらには教員研修（県外への視察）を充実させた。

平成25年度以降の3年間については、キャリア教育を前面に出した内容とした。特に、キャリア教育の中核である進路指導を中心にかなり力を入れることとし、教育内容の徹底的な見直しと根本的な立て直しを図った。

このことから、進路指導に関する研修の機会ができるよう予算確保した。また、近年の社会構造の変化により、特に高等学校卒業後の雇用環境の多様化がすすんでいる中



で、キャリア教育やそれに関連した定義や在り方について、事務局担当で資料の確認を行い、起業家教育はキャリア教育の一部分であるということをきちんと明確化した。

以上のような歴史的変遷を経てきたことを踏まえ、成果・今後の課題について述べていきたい。

II 進路指導についての実施項目・成果・今後の課題について

本校の進路指導は、派手さは一切ないのであるが、本当に地道でひたむきな進路指導を積み重ねている。

平成21年度までの起業家教育で積み重ねてきた教育内容を発展させ、「東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業」（平成24～27年度）の研究指定を受けてのキャリア教育（商業科（起業家教育等）を除く）の主な教育実践については、19ページ以降の（1）～（7）である。

本校の生徒指導サポーター 竹中悦郎 作成「就職指導システム改善モデル資料」（一部転載）

3年間を見据えた就職達成への指導計画(案)												
宮城県鹿島台商業高等学校												
3つのポイント			A 確かな学力の定着			B 勤労観・職業観の育成			C 就職試験への意識高揚 (生徒・保護者の意識改革)			
1学年 自己理解・基礎力養成期												
<small>高校生として基本的な生活習慣を確立させると共に、学び直しを含めた基礎学力の定着をはかる。早期の進路希望決定に向けて、自己理解や他者理解を深める。</small>												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
基礎学力・ビジネスマナー等の育成						自己理解・他者理解期間						
A	基礎力確認テスト(国数英) 教科指導(特に国数英)での基礎力養成(通年)					各種検定への取組(課外補習も含む)			各種検定への取組(課外補習も含む)			
B	進路講話(オリエンテーション) キャリアセミナー 職業適性検査 キャリア教育(週1時間・通年)		進路ガイダンス① 職業調べ学習			企業見学 進路ガイダンス②			卒業生との懇談会 進路達成へ向けて集中指導			
C	進路講話(オリエンテーション) 二者面談 進路希望調査①		三者面談			進路希望調査② 保護者対象セミナー			卒業生との懇談会			
2学年 進路設定・実力養成期												
<small>インターンシップなどをおして勤労観・職業観を深める。また、次年度の進路実現に向けて、就職応募体験や履歴書作成練習・模擬面接練習など、より具体的な対策を実施して意識を高める。</small>												
基礎学力・ビジネスマナー等の育成、勤労観・職業観養成期間						受験企業 仮決定						
A	基礎力確認テスト(国数英) 教科指導(特に国数英)での基礎力養成(通年)					各種検定への取組(課外補習も含む)			各種検定への取組(課外補習も含む)			
B	進路講話(オリエンテーション) キャリアセミナー 就業体験事前指導(週1時間) キャリア教育(週1時間・通年)		ビジネスマナー講習(外部指導) 就業体験事前指導(週1時間)			就業体験実施 就業体験事前・事後指導(週1時間)			卒業生との懇談会 進路達成へ向けて集中指導			
C	進路講話(オリエンテーション) 二者面談 進路希望調査①		三者面談			進路希望調査② 保護者対象セミナー			卒業生との懇談会 就職応募模擬体験(希望提出)			
3学年 進路実現・実力完成期												
<small>自己の適性にあった確実な企業選択を行う。就職内定に向けて、実力向上を図るとともに、内定後は社会人への準備を確実にすすめる。</small>												
企業研究・模擬面接練習			模擬面接練習・受験企業決定			9月受験			合格後 後輩へのアドバイス・社会生活及び入社準備			
A	基礎力確認テスト(国数英) 教科指導(特に国数英)での基礎力養成(通年)								(希望提出→校内選考)→ 応募願提出→書類作成(履歴書練習)→模擬面接			
B	進路講話(就職支援推進員・キャリアアドバイザー) 企業研究(先輩の受験報告書など) キャリア教育(週1時間・通年)		応募前職場(企業)見学 企業研究(先輩の受験報告書など)			受験報告書の作成 起業家教育			合格体験記の作成 起業家教育			
C	二者面談 進路希望調査 保護者対象セミナー③ 校内模擬面接① SPI対策テスト 進路ガイダンス		三者面談 校内模擬面接② 保護者対象セミナー 合同企業説明会			校内模擬面接③④ 合同就職面接会 社会生活講話(就職支援推進員・キャリアアドバイザー)			入社準備セミナー ハローワーク面談(未内定者) ハローワーク講話(内定者・進学者) 労働法講話 社会生活講話(家計・金融関係など)			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 就職試験解禁! 希望者全員受験を! </div>												
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 3学年「0学期」スタート! 9月末の就職内定に向けて準備! </div>												
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 最重要期間 </div>												

(1) 独自教材の作成(全学年)「総合的な学習の時間」(旧:学校設定科目・学校裁量の時間「O T」)

概要

「総合的な学習の時間」(旧:学校設定科目・学校裁量の時間「O T」)は週1時間、各教科の授業やLHRなどとは別に設定された時間であり、全学年独自に作成された勤労観・職業観を育むプログラム教材で実施し、3年間系統的なキャリア教育を実施していく上で中核となっている。

特に、本校では平成24年度より、キャリア教育の取り組みについて大幅な見直しを図り、内容の充実・強化を行った。雇用問題等の現状を踏まえながら、進路選択や決定はもちろん、将来の生き方について具体的できめ細やかな内容で実施している。一部を紹介すると、職業とはなにか、社会人に求められるもの、自分史・将来設計、社会人の考え方、職種理解、求人票の見方と履歴書、面接試験対策、社会人への準備などである。

平成23年度に本校1・2年生を対象に実施した**キャリア教育に関するアンケート(注ii)**は、人材の採用や育成・雇用問題の現状を踏まえて、どのようなキャリア教育を実施していく必要があるかについて模索するために実施し、今、本校のキャリア教育に様々な面で生かしている。

※注ii:平成26年度「第2回キャリア教育推進協議会」資料⑦「キャリア教育」に関する研究資料及びアンケート結果について、平成25年度「第2回キャリア教育推進協議会」資料③「キャリア教育」に関する研究資料及びアンケート結果について

成果

「総合的な学習の時間」を経験した本校の生徒は、卒業後の進路や新しいキャリアを意識できるようになり、会話の中に進路や将来のキャリアについて意識した話がよく聞かれるようになっている。また、職業について表面的なイメージではなくより具体的に考えられるように、きめ細かなワークシートや指導案等による指導を行っている。指導形態はクラス単位に留まらず、2年生の2月以降の時間では、就職、進学(大学・短大・専門学校)、公務員という進路別について外部講師を招いての指導も含めて、積極的に進めている。また、全学年にわたり外部の魅力ある講師を招くことによる講話や講座も盛りだくさん行っており(キャリア教育・進路指導関係)、キャリア教育の充実・強化を行った。生徒は外部講師の指導に対して、良い意味で緊張感を持って取り組む様子が目立つなど、良い効果が表れている。また、取り組みを行うにあたっては、事前・事後指導を充実させるとともに、各学年ともクラス毎の指導に留まらず、きめ細かい指導に留意した。



課題

どの教員が担当しても同質の内容を提供できる指導案やワークシートとなるよう指導法の研究を怠らなく行っていくことが課題である。

キャリア教育としての「総合的な学習の時間」は、高等学校学習指導要領の「総合的な学習の時間」の内容をもとに、総合学科で実施している「産業社会と人間」や、大学・短大・専門学校などの高等教育機関のキャリア教育の実践事例も参考としながら、充実した時間としていく必要がある。

今まで以上に教職員全員で知恵を振り絞りながら、ワークシートや各種資料も含めた教育内容の充実や改善、教材研究や指導方法の研究を継続的に進めていく。

来年度の「総合的な学習の時間」の指導計画を立てていく場合には、早めの準備を行うとともに、十分に吟味して行うようにしていきたい。また、進路ガイダンスについても、年間行事予定の進路ガイダンスは株式会社HEXA様による企画・実施も参考としていながら、3年間の系統的なキャリア教育・進路指導を行うことを踏まえ



た内容になるよう十分留意していきたい。さらに、外部の方々の効果的な活用についても、一層より良いものとするために人的ネットワークの構築をより強化していき、地域をはじめ外部との連携により一層力を入れていきたいものである。

3年間の充実したキャリア教育充実のために進路指導部部員全員の指導力向上が必要不可欠であり、担任・副担任等の先生方が実施しやすいものになるよう、研鑽していくことが大切である。

指導案や教材・ワークシート等について、進路指導部内で共有することはもちろんではあるが、書籍やホームページ等の情報収集や、外部の研修会への積極的な参加をより一層進めていき、進路指導・キャリア教育のプロとしての自覚を持って研鑽していきたい。

※資料②において、「総合的な学習の時間」の年間計画（2学年「就業体験」の年間計画も含む）の詳細資料を掲載した。

（2）就業体験（インターンシップ）

概要

今年度も昨年に引き続き2年生全員が3日間、生徒一人一人が希望する実際の職場で「就業体験学習」に取り組んだ。本校では、勤労観、職業観を深めさせ、将来の進路選択及びキャリアデザインに役立てるとともに、人としての在り方・生き方を考えさせることなどの目標を持って実施している。今年度も生徒は引き受けて頂いた事業所に迷惑を掛けたくないよう一生懸命に頑張っていた。期間中は事故などなく無事に終わることができ、受け入れて頂いた事業所の皆様に対し、心から感謝を申し上げたい。



全国商業高等学校長協会では、平成23年5月18日に「キャリア教育の現状と課題について」、同年9月20日に「キャリア教育・商業教育の在り方について一生徒のよりよい進路実現を目指して一」を出し、さらには春季総会等において、キャリア教育の在り方について協議され、その中でも、就業体験（インターンシップ）の内容が、特に大きく取り上げられていることから大変重要である。

本校では平成16年度から商業科主管で積み重ねられてきたノウハウを進路指導部が引き継ぎ、この2年間は大きな成果があがってきた。しかし、近年の入学生の状況や職員の異動による入れ替わりの激しさから、次年度以降も、これまで同様成功させるためには、指導体制について毎年見直しを図り、よりしっかりとした体制を構築することが必要である。

①就業体験先の選定について

就業体験先については、生徒の希望や思いを十分踏まえながらも、本校が長年お世話になっている就業体験先も考慮しながら、将来の職業生活や社会生活にも役立つことができるような就業体験先の選定（接客も体験できる販売やサービス等）が概ねできたのではないかと見える。前にも触れたのであるが、2学年のスタッフ全員のチームワークの素晴らしさとともに、経験豊富で素晴らしい力量を兼ね備えていた点が本当に大きかった。

今年度良かった点は、

- i) すべての事業所へ教員が自ら事前訪問をきちんと行い、学校の誠意を伝えることができたとともに、事前に情報を共有しながら行うことができた。
- ii) 事業所の選定を本年度は「進路選択」という目標に従い「生徒自身が調べ考え判断した職種」の事業所に依頼するというテーマを設けた。その中で、一部目標が定まらない生徒は、期間ぎりぎりまで面談を繰り返し、丁寧に行った。事業所を決定する必要性を認識する機会となり、来年度の進路選択に向けて大きな経験となった。
- iii) すべての生徒が実際の職場で体験することができ、かつ体験が1日や2日のみであった生徒が昨年度に引き続き最小限に抑えることができた。

- iv) 教員が事前打ち合わせを直接出向いて行ったことにより、集合時間・持ち物・注意事項等の内容の聞き違いが生じることもなく、当日は安心かつスムーズであった。
- v) 生徒全員に作文「就業体験実習を終えて」を書かせて、お礼状とともに事業所へ送付することにより、生徒が実際に学んだ生の声を事業所へお伝えすることができた。
- vi) 過去の就業体験関係の資料や生徒や実習先等のデータベースの構築も行うことができ、来年度以降の実施に参考となる資料を作成できた。

② 今後の課題について

就業体験先からのアンケートによると、毎年「挨拶や礼儀が不十分である」のような厳しいコメントも頂いており、その課題解決に向けて全教職員で精一杯の努力をしているのであるが、なかなか解決できない実態がある。一例として挨拶や態度、身だしなみ、言葉遣いといったビジネスマナーやコミュニケーション能力の向上に関する教育に力を入れてほしいといった記述が多くあった点が大きな特徴としてある。

今後もビジネスマナーやコミュニケーション能力の向上を少しでも目指し、事前および事後指導の充実に努め、人間性豊かな社会人としてのビジネスマナーの向上や人柄育成を行っていきたいと考えている。

特に、本校では外部の専門家と連携をした指導体制が構築されており、今まで以上にご指導を頂く機会を増やしていくことが重要である。

在校生や卒業生からは、この「就業体験学習」の経験が、多くの場面で生かされているとの声をよく耳にしている。これからも、より良いキャリア教育推進に向け、創意工夫をしていきたい。

また、担当者からの報告では、就業体験先が生徒の希望を十分になええられないケースもあった。特に、接客業・サービス業は比較的受け入れが容易であったが、製造業は難しい現状があった。

就業体験は、最大3日間であるため、自分が体験した仕事が適職であると判断することは事実上不可能であると認識している。また、同じ職種でも事業所により業務内容がかなり異なる実態もあり、YG検査のような職業適性検査を行ってもその人の適性を判断するのは困難であることを、博士の学位を持つ大学の心理学者が言っておられた。そのことから就業体験を、社会人として生きるための自覚を高めることや、職業人として一人前のプロとして生きる覚悟を持つためなどの機会としての位置づけることにより、少しでも自分の性格や適性等を診断することは、大いに進路選択や将来設計の力になるといえる。
※平成25年度第2回キャリア教育推進協議会詳細資料P47～P71、P76において、課題研究の年間計画や過去の就業体験先一覧及び事業所回答のアンケート結果の詳細資料を掲載しているので、参考にして頂ければ幸いです。



平成27年度 就業体験実施要領 (生徒配布プリント)

1 対象学年 第2学年生徒全員

2 体験の目的

(1) 就業体験は、下記の①～⑤を学校の目的として実施されます。

- ① 著しく変化する社会における専門知識や実際の業務内容に触れる。
- ② 職場を体験し、将来の進路選択の一助とする。
- ③ 職場の労働安全・マナーや勤労の大切さを学ぶ。
- ④ 職業観を育成するとともに、人間としての在り方・生き方を考える。
- ⑤ 産業について知識を深める。

(2) 上記(1)により、皆さんが下記の①～③を身につけ「進路選択」を行うことを目的としています。

- ① 意識・・・高校生活を送る中で成長しようとする意識を高める
- ② 経験・・・学習活動だけではなく部活動や行事等から経験を深める
- ③ 知識・・・就職を希望する業種・職種についての知識を得て準備を行う。

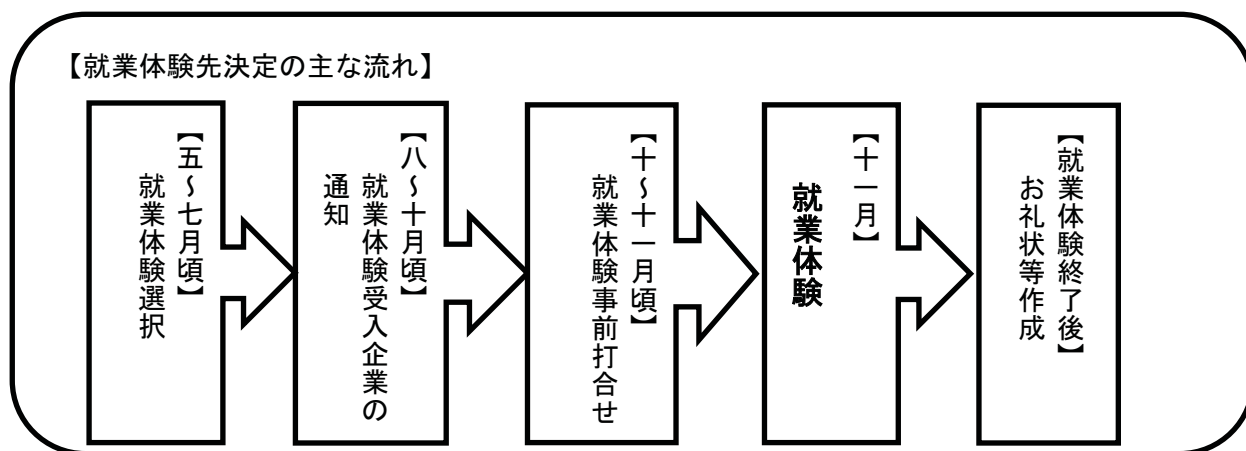
進路希望先の「業種」や「企業」で就業体験に取り組むことで、「(A) 3年生に向けて何を準備するか」、「(B) 高校生活をふりかえり、自己を理解する」、「(C) 進路希望先の情報を得る」の3つを考える機会となります。

3 内容

数日間、企業の「実際の業務（高校生が取り組める内容）」をおこないます。

ほとんどの就業体験先では、8時30分までに集合し、朝の打ち合わせに参加します。

4 体験先の業種決定の流れ



5 体験時での頭髪・服装

項目	内 容	備 考
頭髪	① 男女とも目にかからない長さ ② 男子の後ろ髪は服の襟（えり）に重ならない長さ ③ 女子は黒色の髪留めゴムで1本に束ねる。前髪が眉毛や目にかかる場合はヘアピンで留める（両脇から垂らさない） ④ 染髪・化粧は厳禁。男子は髭（ひげ）をかならず剃（そ）る	介護施設等では利用者の方を傷つけないようにヘアピンは禁止
服装	① 原則として制服で伺う 場合によって就業体験先の企業から、更衣室やロッカーの有無により体育着等の指示がある	エプロン等の指定もある アクセサリ類は厳禁
靴	革靴 ただし業種によっては動きやすいスニーカー等の指示がある	派手な靴は避ける

6 業種別の主な留意点

No	就業体験先業種	主な留意点
1	販売	制服や白のYシャツ, 黒のスラックス, スニーカー, カッターや軍手
2	保育所・幼稚園	腸内細菌検査, 給食費(指導のため幼児と同じ食事を摂る: 1日300円程度), エプロン
3	製造	腸内細菌検査, 爪を短く, 作業着の採寸(サイズ)を事前に伝える
4	接客・飲食店	腸内細菌検査, 爪を短く, 作業着の採寸(サイズ)を事前に伝える
5	介護施設	腸内細菌検査, 爪を短く, 体育着, スニーカー

腸内細菌検査(検便)については, 直接口に入れる食品を提供する事業所では必ず検査します。検査料は1,000円程度で, 検査結果がでるまで1週間程度かかります。(期限まで提出がなければ就業体験ができません)

7 就業体験受け入れ企業が高校生にできてほしい内容・技術等

- (1) 挨拶(大きな声で)
- (2) 言葉遣い(敬語)
- (3) 身だしなみ(服装・頭髪)
- (4) 守秘義務

8 留意点

就業体験先の企業は, 社会貢献の一環として受け入れをおこなっています。企業として高校生の育成にかかわることで社会の発展に寄与することを目的としています。

企業の担当者は, 通常の業務をこなしながら生徒の面倒をみることになり負担が重くなります。企業にとっては迷惑な活動ともいえます。

「受け入れていただいている」という気持ちを持って取り組むことが大事です。

9 就業体験の生徒の感想

(1) 販売

- ① 商品の生活用品類は, 身近な物なのでどこに置いてあるのかが多少わかっていたのですぐ終わることができた。2~3日目の業務では, 商品の量も多く場所が分からなくなって大変でしたが, 従業員の方に伺ったり手伝っていただき無事に終わることができた。
- ② にんじんやサツマイモを計って袋に入れる作業をおこなった。正確に決められた重さに計るのが難しかった。
- ③ 力が足りないと感じたことは, 挨拶するときだんだん声小さくなって注意された。そして, お客様とのコミュニケーションや周囲に気を配りながら仕事をおこなうことを学んだ。

(2) サービス・接客・飲食関係

- ① 最低限の事は普段の生活できちんとしなきゃいけないだなあと感じた。
- ② 食事の提供で, 皿が重く持ち方も歩き方も姿勢も全然できなかった。表向きは綺麗に見えるホテルでも, その裏側でしっかり頑張ってお客様のために働く方がいるから華やかに見えたと感じた。
- ③ 中腰になってする作業が多く, 腰がつかなくて大変でした。いつもは休んだり遅刻したりするけれど, 就業体験を通して働くことの大変さと欠席・遅刻が良くないことを学びました。

(3) 製造・農林水産業

- ① 実習先の企業の方々の挨拶は当たり前のことかもしれませんが素晴らしく, うちの生徒の多くは挨拶ができていないことがあるので, 見習わなければと思いました。
- ② 商品のビンにラベルを貼った。販売される商品なので, 失敗は許されない作業が精神的に大変だった。トマトの収穫は「へた」がいくつも取れてしまい大変難しい作業でした。
- ③ 失礼の無いように準備を行いました。今回は管理課, 総務課, 渉外課などの部署の方々からご指導をいただきました。管理課では, 財務会計の決算などの仕事を学びました。また, 総務課ではマナーの研修を受けました。言葉遣いや正しい礼について学び今後学んだことを生かして実社会に出ても恥ずかしくないようにしていきたいです。

(4) 看護・介護

- ① 介護では, 高齢者の方々は人生の大先輩なので尊敬する気持ちを持つことを改めて感じました。

食事の介助ではタイミングや声掛けをしながらすることは大変でした。思っている以上に大変な仕事だと思います。ですが、とてもやりがいを感じられる仕事で3日間の充実した体験でした。鹿商は商業高校なので、卒業後に介護の仕事をしてしながら勉強を両立したいと思っています。

10 就業体験後の生徒アンケート内容

(1) 取り組んでどうでしたか？

項目	割合
①とても良い経験になった	51.4%
②良い経験になった	46.6%
③経験にならなかった	2.7%
合計	100%

(2) 印象に残っている内容は何ですか？

- ① 自分が思っていた以上にうらの仕事の大切さ
- ② 着ぐるみ
- ③ 子供たちの前で本の読み聞かせをしたこと
- ④ 資料作り
- ⑤ 責任
- ⑥ 商品陳列
- ⑦ 笑顔で接客や挨拶の大切さ
- ⑧ 人の目で細心の注意を払い、箱詰めしていることから、手がかかっていることを理解した
- ⑨ 商品がどこに陳列されているか覚えながらの作業

(3) 就業体験で何を学びましたか？

- ① 働くことの大切さ
- ② 会社のルール
- ③ 病院の中でもたくさんの仕事があり、それぞれ大切な仕事であることを認識
- ④ マナー（礼儀）
- ⑤ 年上の方々とのかかわり方
- ⑥ 最後までやり遂げること
- ⑦ 仕事は好きでなければ続けられないこと
- ⑧ 一つの仕事にやりがいを感じ、丁寧にすれば達成感を得ることができること。
- ⑨ コミュニケーションをとる大切さ
- ⑩ 働くことは社会に貢献すること
- ⑪ お客さんを喜ばせること
- ⑫ 早く正しく作業すること
- ⑬ 気遣い

11 就業体験実習後の企業の方からの声

- (1) 始業開始15分前に出勤し、挨拶もきちんとしていた。基本ができていた ○
 - (2) 何事も真剣に取り組んでいた。 ○
 - (3) お客様の対応で忙しく、指示が出せなかったとき自分たちで考えて行動したのは良かった。○
 - (4) 挨拶 △
 - (5) 指示されたこと（言われたこと）を守る △
 - (6) 体調管理を行う △
 - (7) もう少しコミュニケーションが取れると良い。挨拶が身についていない ×
 - (8) 声が小さかった。 ×
 - (9) 感じたことを文章にまとめて記録することや話すことができると良い ×
 - (10) 積極的に質問する意識と何を学びたいかを明確にする（目標を明確にする）×
 - (11) 高校生なので自分の将来的な考えを持ってほしい ×
- 良い ×良くない △アドバイス

(3) ビジネスマナーの指導について

就業体験の事前指導としてビジネスマナー講習を実施した。

今年度も外部指導として福島学院大学副学長・教授の小松由美先生とともに、マナー・コミュニケーションアドバイザー・仙台医療秘書福祉専門学校の瀬尾幸江先生にもご指導頂くことができた。小松先生と瀬尾先生には、5・6校時において、昨年度までと同様に2時間に渡る就業体験事前指導を頂いた。

具体的には、①なぜインターンシップを行うのか ②「働く」とはどのようなことか ③企業が求める人材 ④職場での振る舞い方 ⑤インターンシップを今後の進路選択に役立てよう という内容で行い、意識を高めることができた。

また、昨年度同様、就業体験事前指導当日の放課後の約1時間40分近くにわたり、2学年商業科「課題研究」秘書概論受講者及び全学年希望者を対象として、ビジネスマナー実技講習会を開催し、外部の専門家からの直接指導を受けることにより、ビジネスマナーの重要性を深めさせる機会の一つとなった。ビジネスマナーについて先生方からより具体的に時にはマンツーマンで直接ご指導いただき、実技を繰り返すことで、お辞儀や歩き方・表情・言葉遣いなどが変化し、生徒たちは喜びとともに笑顔で満ちあふれ、自信ある表情に変化した。

実際の職場で通用する正しいビジネスマナー指導の機会・方法について、進路指導・キャリア教育の視点から、進路指導部の立場として、指導及び先生方への支援が足りず、今後指導の在り方を強化していく必要があるといえる。この課題は、すぐに解決できるものではなく、事務局（進路指導部）においてもより一層具体的手立てを考えなければならないと考えている。

挨拶や礼法・態度・言葉遣い等のビジネスマナーについては、秘書サービス接遇教育の手法も入れた指導を限られた時間ではあるが一層取り入れていきたい。



(4) キャリアカウンセリング（全学年）

概要

キャリアカウンセリングの充実は大変重要である。心の問題に真摯に向き合っていくには、心理学に裏付けられたアプローチも必要である。

成果

本校では、スクールカウンセラーによるカウンセリングを受けることのできる環境づくりに時間と機会の許す限り力を入れており、恵まれた状況となっている。また、ハローワークによる面談では、進路未決定者本人及び保護者（場合によっては担任教諭）を対象としての個別面談を古川公共職業安定所のジョブサポーターの方々にして頂いている。ジョブサポーターの方々もキャリアカウンセリングの専門家として心理学的視点からのアプローチが可能であることは大きい。さらには、宮城県中小企業同友会主催の就職ガイダンスや宮城労働局・ハローワーク主催の合同企業説明会での事業所との面談など、実際に働く社会人の方々と接していく機会を数多く設けている。



その他にも、日々の学校生活においては、担任の先生方をはじめ全教職員で、全学年対象の二・三者面談なども含め、生徒の様子を観察しながらきめ細かい指導や相談を行っている。進路指導・キャリア教育では、特にキャリアカウンセリングは重要であるため、教職員のかかわり方の在り方が問われてきている。特に本校では、人生経験豊かな生徒指導サポーターとキャリアアドバイザーの職員2名が進路

指導をはじめ進路室のキャリアカウンセリングという点において大変大きな役割を果たしている。

課題

「将来何をしたらよいのかわからない」といった、自分の将来について相談したいという生徒は少なからずいる。したがって、キャリアカウンセリング充実のために、教員を心理学や教育相談等に関する研修会へ派遣し、心理カウンセラー関係の資格取得を目指させることも必要である。また、キャリアカウンセリングという点では、各種の通信講座が充実しているので、自己研修も期待していきたいところである。

今後は引き続き、一層の進路情報など資料の充実を図ることや、個々に最適なアドバイスが可能になるよう、特に進路室も気軽な気持ちで相談しやすい環境となるよう、進路室のレイアウトも含め、一層努力していきたい。



(5) 研修

① 生徒について

平成24年度以降の卒業生は、被災地の地元企業に数多く就職し、これまで本校で教育実践してきたキャリア教育で学んだ経験を生かし、特に製造や建設関係の仕事では、直接震災復興を担う業務に携わり復興において大きく寄与している。また、安易に自己就職や縁故就職・アルバイト等の安易な進路選択をする生徒が震災前と比べ大幅に減少した。また、内定率の向上及び就職者が安易に離職する事例が減少し、本校における人生を見通したキャリア教育が少しずつ浸透してきている。

進路決定した生徒の指導について、決定後は緊張感がやや薄くなってしまったところが今年度は特に課題として出ている。今後は就職試験の「内定」は、自分の人生の一つの過程に過ぎず、「決定したから終わり」ではなく、ここから新たな勝負として創意工夫することを、1年生から「総合的な学習の時間」に意識して取り入れていかなければならないといえる。

しかし、現在の雇用環境は多様化・複雑化しており、働き方は様々なスタイルがあり、製造業では海外での生産や労働力の活用が見られるようになってきている。また、若い人材の非正規雇用者の増加が各種調査結果でも明らかになっており、高卒者の就職支援システムの在り方が揺らいでいる現状もある。若年者の貧困層が拡大しており、若い女性のキャリアも特有の問題が数多く生じてきている。高校生のキャリア教育の在り方については、学校マネジメントも視野に入れながら、学校側ではどうしても限界があることから、地域との連携を深めるとともに、外部の方々の力を借りることが、今後ますます必要となっている。



② 教員について

教職員の研修もますます大切になっている。個々の教員のキャリアステージの在り方からも、平成24年度から「東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業」の指定を受けたおかげで多くの教職員の研修の機会をいただくことができた。今年度は、県外先進校訪問、キャリア教育推進連携シンポジウム等、昨年度に引き続き、数多く視察や研修への参加が実現した。

特に、以下のホームページは、キャリア教育や進路指導の現状を詳しく知る上で参考とするものである。



<p>(ホームページ画像は非公開と致しますので、ご了承願います。)</p>	<p>日本キャリア教育学会 http://jssce.wdc-jp.com/ 【事務局】 〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター (株)国際文献社内 Email : jssce-post@bunken.co.jp TEL : 03-5389-6378 FAX : 03-3368-2822</p> <p>(記述内容については非公開と致しますので、ご了承願います。)</p>
<p>(ホームページ画像は非公開と致しますので、ご了承願います。)</p>	<p>日本キャリアデザイン学会 http://www.career-design.org/ 【事務局】 〒181-0012 東京都三鷹市上連雀 1-12-17 三鷹ビジネスパーク 2号館 ぶんしん出版内 TEL. 0422-55-6582 FAX. 0422-55-6582 E-mail. info@career-design.org</p> <p>(記述内容については非公開と致しますので、ご了承願います。)</p>
<p>(ホームページ画像は非公開と致しますので、ご了承願います。)</p>	<p>労働政策研究・研修機構 (JILPT) http://www.jil.go.jp/ 【問い合わせ先】 〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23 TEL : 03(5903)6111 FAX : 03(5903)6113</p> <p>(記述内容については非公開と致しますので、ご了承願います。)</p>
<p>(ホームページ画像は非公開と致しますので、ご了承願います。)</p>	<p>特定非営利活動法人ハーベスト http://www.heartbest.net/ 【問い合わせ先】 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 2 丁目 10-33 第二日本オフィスビル 9階 TEL : 022-395-4311 FAX : 022-395-6432</p> <p>(記述内容については非公開と致しますので、ご了承願います。)</p>
<p>(ホームページ画像は非公開と致しますので、ご了承願います。)</p>	<p>NPO法人POSSE (ポッセ) 【問い合わせ先】 【東京】 〒155-0031 東京都世田谷区北沢 4-17-15 ローゼンハイム下北沢 201号室 【京都】 〒605-0018 京都市東山区三条通大橋東入 2丁目下る巽町 442-9 東山いきいき市民活動センター内 【仙台】 〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-14-20 本町キクタビル 601</p> <p>(記述内容については非公開と致しますので、ご了承願います。)</p>

	<p>了承願います。)</p>
<p>(ホームページ画像は非公開と致しますので、 ご了承承願います。)</p>	<p>公益財団法人 実務技能検定協会 http://jitsumu-kentei.jp/HS/index (左側の画面は秘書検定のページ) 【問い合わせ先】 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-4-15 TEL:03-3200-6675 FAX:03-3204-6758</p> <p>(記述内容については非公開と致しますので、 ご了承承願います。)</p>
<p>(ホームページ画像は非公開と致しますので、 ご了承承願います。)</p>	<p>放送大学・放送大学大学院 http://www.ouj.ac.jp/ 【放送大学本部】 〒261-8586 千葉県美浜区若葉 2-11 Tel:043-276-5111 Fax:043-297-2781</p> <p>(記述内容については非公開と致しますので、 ご了承承願います。)</p>
<p>(ホームページ画像は非公開と致しますので、 ご了承承願います。)</p>	<p>福島学院大学・大学院・短期大学部 http://www.fukushima-college.ac.jp/ 【宮代キャンパス】 〒960-0181 福島市宮代乳児 池 1-1 電話：024-553-3221(代表) 【福島駅前キャンパス】 〒960-8505 福島市本町 2-10 電話：024-515-3221(代表)</p> <p>(記述内容については非公開と致しますので、 ご了承承願います。)</p>

<p>(ホームページ画像は非公開と致しますので、ご了承ください。)</p>	<p>大阪商業大学 起業教育研究会 http://ouc.daishodai.ac.jp/entre/ 【問い合わせ先】 大阪商業大学 リエゾンセンター 〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町 4-1-10 大阪商業大学9号館2階 TEL : 06 (6785) 6262 FAX : 06 (6785) 6156 E-Mail : liaison@oucow.daishodai.ac.jp</p> <p>(記述内容については非公開と致しますので、ご了承ください。)</p>
<p>(ホームページ画像は非公開と致しますので、ご了承ください。)</p>	<p>千葉商科大学 http://www.cuc.ac.jp/ 【問い合わせ先】 〒272-8512 千葉県市川市国府台1-3-1</p> <p>(記述内容については非公開と致しますので、ご了承ください。)</p>

(6) キャリア教育に関するアンケート調査について

全校生徒を対象に本校のキャリア教育・進路指導に関係する内容について質問紙法でアンケートを行う予定である。できる限り本校の生徒の実態を踏まえて答えやすいよう留意していきたい。アンケート調査の実施予定時期は、3学年は平成28年2月上旬、1・2学年は平成28年2月下旬である。

参考として過去のアンケート結果については、平成24年度に調査開始以来3年連続で概ね全学年とも、すべての質問項目について「良かった」「どちらかという良かった」と答えていた(注iv)。参考として、昨年度において平成27年3月卒業生が記述したものを一部取り上げると、以下のようなものがあつた。

※昨年度のアンケート用紙については、32ページに掲載した。今年度においても、各年度の結果と比較検討する関係もあり、質問項目の大幅な変更は予定していない。

※注iv：平成25年度「第2回キャリア教育推進協議会」資料④「キャリア教育」に関する研究資料及びアンケート結果について

<p>キャリア教育に関するアンケート調査において、生徒の記述した内容例(3年生・一部抜粋)</p> <p>「自分の行く進路をしっかりと決められた(男子)」「ためになる話だと思ふ(男子)」「就業体験は体験できて、いい経験だと思ふ(男子)」「外部の方々のお話はためになった(男子)」「1年生の企業見学は大事だと思ふから(男子)」「応募前職場見学は緊張した(女子)」「就業体験は仕事の大変さがわかつた(女子)」「進路ガイダンス・進路講話などはとても役に立つたのでよかつたです(女子)」「総合の時間は役にたつたです(女子)」「応募前職場見学は行ってよかつたです(女子)」「キャリア教育で指導してくれるのはありがたいと思ひました(女子)」「外部の方々からのお話は、自分じゃわからないことが聞けるのでよかつたです(女子)」</p>



平成27年度実施用 キャリア教育に関するアンケート（生徒）

男子 女子 （ いずれか ○ で囲んで下さい。） アンケート記入の日・曜日…………平成27年（ ）月（ ）日（ ）曜日

本校のキャリア教育・進路指導に関係する次の各項目について、1～4の中から選択して○で囲み、回答して下さい。また、その回答を選んだ理由を答えてください。

- | | |
|------------|--------------------------------------------------------|
| 選択肢 | 1 良かった
2 どちらかという良かった
3 どちらかという良くなかった
4 良くなかった |
|------------|--------------------------------------------------------|

質問	回答	集計欄
学習成果発表会について ※2・3年生のみ回答して下さい。	回答 <u>1</u> <u>2</u> <u>3</u> <u>4</u>	
理由		
質問	回答	集計欄
進路ガイダンス・進路講話など、外部の方々からの お話やご指導について	回答 <u>1</u> <u>2</u> <u>3</u> <u>4</u>	
理由		
質問	回答	集計欄
企業見学（工場見学）について ※1年生で実施	回答 <u>1</u> <u>2</u> <u>3</u> <u>4</u>	
理由		
質問	回答	集計欄
就業体験（インターンシップ）について ※2年生で実施 ※2・3年生のみ回答して下さい。	回答 <u>1</u> <u>2</u> <u>3</u> <u>4</u>	
理由		
質問	回答	集計欄
3年「総合実践」起業家教育（KEP 鹿島台商業 高校アントレプレナーシップ プログラム）について ※3年生で実施 ※3年生のみ回答して下さい。	回答 <u>1</u> <u>2</u> <u>3</u> <u>4</u>	
理由		
質問	回答	集計欄
応募前職場見学や学校見学・オープンキャンパスに ついて ※3年生のみ回答して下さい。	回答 <u>1</u> <u>2</u> <u>3</u> <u>4</u>	
理由		
質問	回答	集計欄
進路指導・キャリア教育（例：OT，総合的な学習 の時間）全般について （※総合的に判断して下さい）	回答 <u>1</u> <u>2</u> <u>3</u> <u>4</u>	
理由		

(7) 進学希望者に対するキャリア教育・進路指導について

本校では、進学希望者へよりよい指導という点では、具体的な対策はまだ不十分な面があり、今後の大きな課題となっている。昨年度、3年ぶりに4年生大学への進学者が出たため、その実績が希望と勇気を与えたこともあり、今年度も引き続き1名が同じ大学進学を果たした。昨年度、この大学に合格した大きな要因の一つは、簿記や会計および小論文・面接等の実力養成のため、部活動顧問教諭の粘り強い個別による指導が大きかった。

この大学では、毎年、資格取得推薦（基準は日商簿記2級取得及び評定平均3.8以上など）の指定校枠を1名頂いていたが、より確実に合格を勝ち取るために、学業成績による指定校枠確保のお願いを行ったこともあり、無事指定校枠を頂き、今年度も活かすことができた。

進路指導部では、将来を見据え高い志を持って意欲的に学ぶ生徒のために、今回合格した大学の教員対象の入試説明会に受験者0名であっても毎年参加し、先を見通した対応を行っている。今後は、意欲的に学ぶ生徒を一人でも多く大学への進学も進めることにより、将来の可能性を広げることができるといえる。

しかし、実際には大学進学指導体制が確立されていないため、例えば、今後以下のようなことを考えている。



- ①長期休業中にオープンキャンパスや学校説明会等に生徒が体験し報告をまとめるなどの工夫を行いながら、他校の事例なども参考にしながら指導方法を模索する。
- ②最近3年間の大学進学者はわずか2名であり、勉学を通じて自分自身を高めようとする生徒がいないのは、本当に深刻な課題である。大学に進学して将来の可能性を切り開いていく意欲のある生徒を一人でも増やすために、まずは来年度、宮城県内の経済・経営・商学関係の大学との連携を密にしていきたい。具体的には、
 - 大学の先生が高等学校へ出向いて頂くことのできる出前授業制度の積極的活用を図る。
 - 必要に応じて進路指導部や3学年以外の本校の先生方に協力をお願いし、母校である出身大学の大学説明会やオープンキャンパス等にOB・OGの立場を生かしながら参加し、恩師等の人脈も積極的に活用する方法を考える。
 - 生徒の進路対策のみではなく、大学等の教育力を生かすため、高大連携を模索し、高等学校の教育現場の実態を理解して頂くとともに、本校の教育内容にも生かす方法を考える。
- ③専門学校に進学した卒業生については、専門学校進学後の様子を把握し、今後の進路指導・キャリア教育に生かすための追跡調査を行う。
- ④奨学金のみではなく、大学等への進学が可能となるための資金計画等（大学卒業後の返済計画等も含めて）について、情報収集を怠らずに行い、厳しい家庭環境に置かれている生徒の進学への援助を可能な限り行う。

(8) キャリアセミナーについて

平成25年度より特定非営利活動法人ハーベストが行っているキャリアセミナーを導入し、本年度は3年連続での開催となった。本校のキャリア教育の中核である進路指導の面で大きな力を頂いている。

本校の特色としては、全学年を対象としていることである。宮城県内の全日制高等学校では他に例がなく、誇りとしているところである。全学年対象であるため、在校中の3年間で6講座（6名の講



師の方々との出会い) 受講できるという体制を整えることができた。

本校がかつて平成19年度から平成22年度までの4年間同法人のキャリアセミナーを行っていたが、同法人の高等学校キャリアセミナーを最初に開催したのが、本校であることは光栄なことである。

このキャリアセミナーは、直接進路目標達成するためのものではなく、キャリアが豊富な様々な方々と直接接することにより、将来の人生設計に少しでも役立たせるためのものである。つまり、高等学校卒業までよりも卒業後の人生の方がはるかに長く、後者を十分に意識したものである。

今年度は、進路指導部が不慣れな中、ハーベストの用意周到な準備や本校の先生方の連携により、無事終了することができた。

今後は、生徒が記入したワークシートの分析等をきちんとしていく必要性があり、やりっぱなしにならないようにしていくことが、今後の本校キャリア教育の大きな課題としてある。



特定非営利活動法人ハーベスト ホームページ

ハーベスト BLOG より

<http://autumn2009.blog99.fc2.com/blog-date-20150604.html>

(9) キャリア教育に関する特別講話 (キャリアプランニング株式会社 代表取締役社長 桑名 暢 氏) について

本校では、若者の早期離職問題や労働問題に対するさらなる教育の充実が必要であるとの考えから、雇用問題の現状を踏まえた「総合的な学習の時間」のキャリア教育の内容を強化していくために、通常のキャリアカウンセリングを充実させることと、本校のキャリア教育推進協議会の委員をしていただいているキャリアプランニング株式会社 桑名 暢 様に特別講話(1回は1学年進路ガイダンス)をおおよそ月1回のペースで御指導頂くことができた。桑名氏は、宮城県教育庁高校教育課(教育委員会)の就職のための保護者セミナーや就職達成セミナーなどの講師としてもご活躍されているのをはじめ、全国各地で講演活動等を頻繁に行っており、大変お忙しい中頻繁に本校へお越しいただき御指導頂き、本校のキャリア教育の中核である進路指導の面で大きな力を頂くことができた。



平成27年度に御指導いただいた特別講話は、以下の通りである。

1学年

- | | | | |
|-----|---------------|----------------|----------------|
| 第1回 | 6月12日(金) 6校時 | キャリアプランニング株式会社 | 代表取締役社長 桑名 暢 氏 |
| 第2回 | 8月28日(金) 6校時 | キャリアプランニング株式会社 | 小野寺 美帆 氏 |
| 第3回 | 10月30日(金) 6校時 | キャリアプランニング株式会社 | 代表取締役社長 桑名 暢 氏 |
| 第4回 | 12月4日(金) 5校時 | キャリアプランニング株式会社 | 代表取締役社長 桑名 暢 氏 |

2学年

- | | | | |
|-----|---------------|----------------|----------------|
| 第1回 | 6月12日(金) 6校時 | キャリアプランニング株式会社 | 代表取締役社長 桑名 暢 氏 |
| 第2回 | 10月16日(金) 6校時 | キャリアプランニング株式会社 | 代表取締役社長 桑名 暢 氏 |
| 第3回 | 11月20日(金) 6校時 | キャリアプランニング株式会社 | 代表取締役社長 桑名 暢 氏 |
| 第4回 | 1月15日(金) 6校時 | キャリアプランニング株式会社 | 小野寺 美帆 氏 |

3学年

- | | | | |
|-----|----------------|----------------|----------------|
| 第1回 | 7月14日(火) 3・4校時 | キャリアプランニング株式会社 | 代表取締役社長 桑名 暢 氏 |
| 第2回 | 1月15日(金) 6校時 | キャリアプランニング株式会社 | 小野寺 美帆 氏 |

Ⅲ 商業科(起業家教育等) 関係についての実施項目・成果・今後の課題について

本校は、商業科関係のキャリア教育が永年にわたり特色ある教育を行っている。特に、起業家教育について平成19年度からの「個性かがやく高校づくり」の指定校から特に力を入れて教育実践を積み重ねており、起業家マインドの育成ということが大きな柱で行ってきた。現在の位置づけとしては、キャリア教育の領域の一つとしてのものではあるが、本校のキャリア教育の中で理論上も含め、もちろん中核は進路指導ではあるが、本校独自の取り組みとして重視し、大きな特色である位置づけは変わらない。

商業科起業家教育担当教員からの報告 次ページ以降に具体的な内容について述べさせていただいた。